

(様式第9)

富大医病総193号  
平成21年10月2日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 富山大学  
学長 西頭 徳三

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	93人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	252人	39.3人	291.3人	看護業務補助	26人	診療エックス線技師	人
歯科医師	4人	7.2人	11.2人	理学療法士	3人	臨床検査技師	34人
薬剤師	29人	人	29.0人	作業療法士	2人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	2人	その他	人
助産師	26人	人	26.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	458人	13.3人	471.3人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	36人
歯科衛生士	2人	人	2.0人	歯科技工士	人	事務職員	103人
管理栄養士	5人	人	5.0人	診療放射線技師	25人	その他の職員	人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	524.2人	9.3人	533.5人
1日当たり平均外来患者数	1135.1人	49.4人	1164.5人
1日当たり平均調剤数	930.6剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有	37人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有	10人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅷ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有	1人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、眼瞼癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼瞼天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	無	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	無	人
神経芽腫のRNA診断	無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	無	人
腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、腓管内腫瘍その他の腓良性腫瘍に係る腓体尾部切除又は核出術に限る。)	無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靱帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存(骨又は靱帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靱帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHf)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療件事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
ベーチェット病	20人	ウイリス動脈輪閉塞症	13人
多発性硬化症	26人	ウェゲナー肉芽腫症	3人
重症筋無力症	16人	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28人
全身性エリテマトーデス	90人	多系統萎縮症	13人
スモン	1人	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
再生不良性貧血	4人	膿疱性乾癬	0人
サルコイドーシス	27人	広範脊柱管狭窄症	5人
筋萎縮性側索硬化症	14人	原発性胆汁性肝硬変	19人
強皮症	51人	重症急性膵炎	0人
特発性血小板減少性紫斑病	9人	特発性大腿骨頭壊死症	13人
結節性動脈周囲炎	11人	混合性結合組織病	15人
潰瘍性大腸炎	68人	原発性免疫不全症候群	5人
大動脈炎症候群	10人	特発性間質性肺炎	8人
ピュルガー病	12人	網膜色素変性症	32人
天疱瘡	8人	プリオン病	0人
脊髄小脳変性症	23人	原発性肺高血圧症	3人
クローン病	39人	神経線維腫症	4人
難治性肝炎の劇症肝炎	3人	亜急性硬化性全脳炎	0人
悪性関節リウマチ	22人	バッド・キアリ(Budd-chiari)症候群	0人
パーキンソン病関連疾患	86人	特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
アミロイドーシス	1人	ライソゾーム病(ファブリー(Fabry)病含む)	0人
後縦靭帯骨化症	31人	副腎白質ジストロフィー	0人
ハンチントン病	0人		

735人

(注)「取扱い患者数」欄は、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	○ 1.臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2.臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或は臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1年間に83回開催 (内訳 病理部門 63回, 検査部門 20回)	
部 検 の 状 況	部検症例数	39例
	部検率	17.10%

(様式第11)

## 高度の医療の提供実績 (平成20年度)

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経シナプス・アクティブゾーンの形成とその機能発現におけるリン酸化機構の解析	大塚 稔久	臨床分子病態検査学	5,300,000	補 科学研究費若手 (A)
新規角化関連分子Hornerinの機能解析とトイ疾患における意義の検討	牧野 輝彦	皮膚科	1,300,000	補 科学研究費若手 (B)
テラマト®脳動脈瘤手術ソリューションシステムの作製	旭 雄士	危機管理医学	1,300,000	補 科学研究費若手 (B)
環境ストレス-胎盤形成-胎児オートファジーとアポトーシスによる細胞死の観点から	中島 彰俊	産科婦人科学	1,600,000	補 科学研究費若手 (B)
認知症による全身麻酔薬の修飾作用の解明および安全な麻酔法の確立	佐々木 利佳	麻酔科学	1,500,000	補 科学研究費若手 (B)
無頸動脈狭窄症に対する内科治療と外科治療 (CEA/CAS) の無作為臨床試験	遠藤 俊郎	脳神経外科学	3,700,000	補 科学研究費基盤B
食道癌細胞および正常食道上皮細胞における機能性リボ核酸の発現と機能解析	嶋田 裕	外科学 (消化器・腫瘍・統合外)	6,900,000	補 科学研究費基盤B
成長に伴う制御性T細胞の機能発達とその異常に関する研究	宮脇 利男	小児科学	8,400,000	補 科学研究費基盤B
ヒト羊膜細胞による心筋ペースメーカー細胞の樹立と新たなペースング療法の開発	三崎 拓郎	外科学 (呼吸・循環・統合外科)	2,400,000	補 科学研究費基盤B
運動器疾患感受性遺伝子の機能解明に立脚した軟骨変性治療	木村 友厚	整形外科・運動器病学	7,100,000	補 科学研究費基盤B
生殖免疫の立場から見た不育症、早産、妊娠高血圧症候群の病態解明	齋藤 滋	産科婦人科学	5,500,000	補 科学研究費基盤C
加齢による全身麻酔薬作用の修飾機序に関する基礎的研究	廣田 弘毅	麻酔科学	600,000	補 科学研究費基盤C
地震災害リスクを考慮した災害医療体制の効率性評価手法	奥寺 敬	危機管理医学	500,000	補 科学研究費基盤C
統合失調症警告期の新しい診断法と早期治療法の開発: 認知機能と脳機能画像による検討	住吉 太幹	神経精神医学	800,000	補 科学研究費基盤C
マウス細胞による心筋ペースメーカー細胞の樹立と新たな細胞ペースング療法の開発	柳 堅徳	集中治療部	1,100,000	補 科学研究費基盤C
脳内における不安と痛みの相互作用機序解明および新しい慢性疼痛治療法の開発	山崎 光章	麻酔科学	1,000,000	補 科学研究費基盤C
遺伝子改変マウスの上皮性腫瘍発生モデルを用いた新たな癌治療戦略の開発	中村 隆文	産婦人科学	1,000,000	補 科学研究費基盤C
心不全の自律神経機能の概日リズム異常と中枢性CO <sub>2</sub> 化学反射感受性に関する研究	井上 博	内科学 (第二)	2,000,000	補 科学研究費基盤C
心筋緻密化障害における予後推定因子としてのNa <sup>+</sup> チャンネル遺伝子変異の検討	市田 露子	小児科学	1,500,000	補 科学研究費基盤C
水疱性類天疱瘡の病態解明と新規治療法の開発	清水 忠道	皮膚科学	1,400,000	補 科学研究費基盤C
統合失調症の前頭葉病変の成立機序と治療薬についての基礎的・臨床的研究	倉知 正佳	精神科早期治療開発講座	3,300,000	補 科学研究費基盤C
統合失調症におけるミラーニューロンシステムの構造・機能解析と早期補助診断への応用	鈴木 道雄	神経精神医学	1,000,000	補 科学研究費基盤C
多種類の刺激様式による前庭性高次脳機能応答に関する研究	渡邊 行雄	耳鼻咽喉科頭頸部外科	2,600,000	補 科学研究費基盤C
口腔癌の顎骨浸潤の様態とそのメカニズムの解明-分子診断への応用-	野口 誠	歯科口腔外科学	1,800,000	補 科学研究費基盤C
宿主免疫細胞から攻撃されアポトーシスに陥った細胞を組織学的に同定する方法の開発	齋藤 滋	産科婦人科学	800,000	補 科学研究費萌芽
十全大補湯の抗腫瘍効果の分子病理学的解明: 新規抗癌剤開発の糸口	高野 康雄	病理診断学	1,900,000	補 科学研究費萌芽
ELKS/CASTファミリーによるシナプス伝達制御機構の分子メカニズムの解析	大塚 稔久	臨床分子病態検査学	4,000,000	補 科学研究費特定領域
カルシウムチャンネルの局在と機能を制御する膜複体の解析	大塚 稔久	臨床分子病態検査学	2,400,000	補 科学研究費特定領域
胃上皮特異的プロモーター・JCV/TGマウスモデルによるJCVの胃癌原性の解明	高野 康雄	病理診断学	600,000	補 科学研究費特別研究員奨励費
椎間板疾患感受性遺伝子CILPの機能解明に立脚したトランスジェニックマウスの解析	関 庄二	整形外科・運動器病学	5,700,000	補 科学研究費若手 (A)
変異酵素の構造安定化に基づいたリソソーム病治療薬の開発	加藤 敦	薬剤部	1,100,000	補 科学研究費若手 (B)

制御性NK細胞による腫瘍免疫制御の分子免疫学的解析	米澤 (江幡)	輸血・細胞治療部	600,000	補	科学研究費若手 (B)
肺癌に対する分子標的治療の新たな戦略—接着因子関連蛋白をターゲットとして	澤田 成朗	第二外科	1,100,000	補	科学研究費若手 (B)
神経成長因子による腰痛発症の解明とその制御による治療法の開発	淺沼 (阿部)	整形外科	1,200,000	補	科学研究費若手 (B)
網膜色素上皮細胞におけるケカイン産生に対する $\alpha$ 2刺激薬の効果	渡辺 一彦	眼科	300,000	補	科学研究費若手 (B)
川崎病急性期における血管内皮細胞の病原関連分子パターンの解析	廣野 恵一	周産母子センター	2,300,000	補	科学研究費若手 (B)
RNAi法を利用した変性促進遺伝子を抑制する椎間板細胞移植治療法の開発	川口 善治	整形外科	500,000	補	科学研究費基盤C
認知症の周辺症状に対する多価不飽和脂肪酸の生物学的マーカーとしての有用性	上原 隆	精神科早期治療開発講座	900,000	補	科学研究費基盤C
統合失調症の脳の形態学的変化と探索眼球運動に関連する疾患感受性遺伝子の解明	角田 雅彦	神経精神科	1,200,000	補	科学研究費基盤C
炎症からみた早産、妊娠高血圧症候群の新たな治療戦略	塩崎 有宏	周産母子センター	1,000,000	補	科学研究費基盤C
こころのリスク状態における脳構造および脳機能の解明	中村 主計	神経精神科	600,000	補	科学研究費基盤C
敗血症における上室性頻拍の病態解析—発生機序の解明と治療法の確立—	畠山 登	手術部	1,300,000	補	科学研究費基盤C
一分子蛍光相関法による転写因子NF- $\kappa$ B高感度・迅速検出法開発と救急医療への応用	北島 勲	臨床分子病態検査学	1,300,000	補	科学研究費基盤C
超音波エネルギーを利用した多剤耐性肝癌の新しい治療法の開発	峯村 正実	第三内科	2,600,000	補	科学研究費基盤C
イヌ心筋細胞リモデリング修復に対する薬物併用効果	藤木 明	第二内科	1,900,000	補	科学研究費基盤C
マクロファージ遊走阻止因子の表皮における役割、作用機序の解明	渡辺 宏教	皮膚科	1,900,000	補	科学研究費基盤C
統合失調症発症に関わる社会性獲得障害と心理社会的治療に関する生物学的研究	川崎 康弘	神経精神科	1,300,000	補	科学研究費基盤C
Y-90標識抗CD20抗体治療におけるリンパ球の放射性組織障害に関する検討	渡邊 直人	放射線部	1,500,000	補	科学研究費基盤C
サルを用いた強音による外眼筋誘発筋電位動物モデル作成	将積 日出夫	耳鼻咽喉科頭頸部外科	2,400,000	補	科学研究費基盤C
ナノ粒子を利用した特異的温度制御による口腔癌治療	和田 重人	歯科口腔外科	2,200,000	補	科学研究費基盤C
新しい意識障害評価法Emergency Coma Scaleの大規模比較研究	高橋 千晶	救急部	2,000,000	補	科学研究費若手 (B)
糖尿病における失明、歯周病、腎症、大血管合併症などの実態把握とその治療に～	小林 正	第一内科	17,000,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
食道癌生検標本の遺伝子発現プロファイル解析による放射線化学療法感受性予測の臨床～	嶋田 裕	第二外科	19,338,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究	齋藤 滋	産婦人科	25,300,000	補	厚生労働省科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	渡辺 行雄	耳鼻咽喉科	13,000,000	補	厚生労働省科学研究費補助金

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2  
3

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bone, 42	Activation of peroxisome proliferator-activated receptor $\gamma$ inhibits TNF- $\alpha$ -mediated osteoclast differentiation in human peripheral mono	Hourioki H.	第一内科
The Japanese Journal of Rehabilita	リウマチ教育検診入院における関節リウマチ患者の不安調査	松下 功	リハビリテー ション部
臨床リウマチ	生物学的製剤による関節破壊抑制-荷重関節に対する効果と限界	松下 功	リハビリテー ション部
Eur J Neurol 15	Differential diagnosis of cerebral infarction using an algorithm combining atrial fibrillation and D-dimer level	Dougu N	神経内科
Europace 10	Junctional rhythm associated with ventriculoatrial block during slow pathway ablation in atypical atrioventricular nodal re-entrant tach	Fujiki A	第二内科
Cardiovasc Res 78	Effects of a heat-shock protein inducer on the atrial fibrillation substrate caused by acute atrial ischemia	Sakabe M	第二内科
Aliment. Pharmacol.	The modified glucose clearance test: a novel non-invasive method for differentiating non-erosive reflux disease and erosive oesophagiti	Fujinami H	第三内科
Scand.	Diversity of mucosa-associated microbiota in active and inactive ulcerative colitis.	Nishikawa J	第三内科
World J	Practical guidelines for diagnosis and early management of drug-induced liver injury	Tajiri K	第三内科
Hepatology, 47	Metron factor-1 prevents liver injury without promoting tumor growth and metastasis	Takahara T	第三内科
Therapeutic Res	逆流性食道炎と非びらん性胃食道逆流症の病態におけるグルコースクリアランステストの有用性	藤浪 斗	第三内科
J. Dermatol.	Desmoplastic fibroblastoma (collagenous fibroma)	Watanabe H.	皮膚科
Dermatol. Sci., 49	Macrophage migration inhibitory factor (MIF) in bullous pemphigoid. J	Asano Y	皮膚科
Eur. J. Pediatr., 167	A CIAS1 mutation in a Japanese girl with familial cold autoinflammatory syndrome	Kanegane H	皮膚科
(特集: 飲酒の是非-酒は百薬の長か	アルコールの体質検査は? -アルコール感受性に対する体質検査について教えて下さい- 肥満と糖尿病	牧野輝彦	皮膚科
日本レーザー医学会雑誌	炭酸ガスレーザーを用いた列序性母斑に対する治療経験	乗杉 理	皮膚科
Clin Immunol 126	Toll-like receptor signaling is impaired in dendritic cells from patients with X-linked agammaglobulinemia	Taneichi H	小児科
Pediatr Int 50	Molecular characterization of two novel VEGFR3 mutations in Japanese families with Milroy's disease	Futatani T	小児科
日本小児アレルギー学会誌	外来での簡単な問診票とチェック表を導入することによる小児気管支喘息ガイドラインに沿った治療推進の効果	足立雄一	小児科
日本小児アレルギー学会誌	イソプロテノール持続吸入療法中の徐脈発現に関する検討	板澤寿子	小児科
psychiatry, 63	Anomalous cerebral asymmetry in patients with schizophrenia demonstrated by voxel-based morphometry	Kawasaki Y.	神経精神科
Synapse, 62	Effect of MK-801on gene expressions in the amygdala of rats	Matsuoka T	神経精神科
Psychopharmacology, 197	T-817 a novel neurotrophic compound, ameliorates phencyclidine-induced disruption of sensorimotor gating	Seo T.	神経精神科
Psychiatry Res., 157	Essential polyunsaturated fatty acids and social cognition in schizophrenia	Sumiyoshi T	神経精神科
Development of novel cognition-enh	Serotonin <sub>1A</sub> receptors in the pathophysiology of schizophrenia	Sumiyoshi T	神経精神科
Psychiatry Res	Association between absence of the adhesio interthalamica and amygdala volume in schizophrenia	Takahashi T	脳神経外科
Neurosci. Lett., 435	Association between the brain-derived neurotrophic factor Val66Met polymorphism and brain morphology in a Japanese sample of schizophren	Takahashi T	脳神経外科
Biol. Psychiatry, 32	The association of genotypic combination of the DRD3 and BDNF polymorphisms on the adhesio interthalamica and medial temporal lobe struc	Takahashi T	脳神経外科
Psychiatry Res. Neuroimaging, 164	Prevalence and length of the adhesio interthalamica in schizophrenia spectrum disorders	Takahashi T	脳神経外科
Schizophr. Res., 105	Prevalence of large cavum septi pellucidi in ultra high-risk individuals and patients with psychotic disorders	Takahashi T	脳神経外科
The Annals of Thoracic Surgery 86	Why does the preoperative BNP level predict the degree of postoperative BNP elevation?	Yoshimura N	第一外科
Artif Organs. 32	A Coronary Active Perfusion System for Off-pump Coronary Artery Bypass Grafting in an Experimental Porcine Model: The Relationship Betwe	Doi T	第一外科
胸部外科 61	まい・てくにつく - 心室中隔欠損IV型の閉鎖法 -	芳村直樹	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg	Diagnosis of biliary tract and ampullary carcinomas	Tsukada K	第二外科
Cancer Chemother Pharmacol	Combination of doxorubicin and low-intensity ultrasound causes a synergistic enhancement in cell killing and an additive enhancement in	Yoshida T	第二外科
Hepatogastroenterology	Continuous irrigation with suction started at early days after pancreatic surgery prevents severe complications	Sawada S	第二外科
消化器外科, 31	胆嚢癌の手術 - 必要最小限手術の選択 -	塚田一博	第二外科
AJNR, 29	The impact of cavernous sinus drainage pattern on the results of venous sampling in patients with suspected cushing syndrome	Hayashi N	脳神経外科
Childs Nerv Syst, 24	Preparation of a simple and efficient laboratory model for training in neuroendoscopic procedures	Hayashi N	脳神経外科

Minim Invas Neurosurg, 51	Tentorial incision in a lateral-medial direction with minimal retraction of the temporal lobe in the subtemporal transtentorial approach	Hayashi N	脳神経外科
Minim Invas Neurosurg, 51	Neuroendoscopic removal of intraventricular hemorrhage combined with hydrocephalus	Hamada H	脳神経外科
脳卒中の外科	高位頸動脈狭窄病変に対する頸動脈血栓内膜剝離術の問題点と手術手技	林 央周	脳神経外科
機能的脳神経外科	パーキンソン病に対する両側視床下核刺激療法による認知機能および精神機能の変化の検討	旭 雄士	救急部
A case report. J Orthop Sci 13	Fatal prognosis of an atypical meningioma in the cervical spine	Kawaguchi Y	整形外科
J Bone Joint Surg Am 90	Characteristics of ossified lesions in the upper cervical spine associated with ossification of the posterior longitudinal ligament of t	Kawaguchi Y	整形外科
Clin Orthop Relat Res.466(4)	Joint gap changes with patellar tendon strain and patellar position during TKA	Gejo R	整形外科
Chemico-Biological Interactions 17	Molecular mechanism of apoptosis and gene expressions in human lymphoma U937 cells treated with anisomycin	Hori T	整形外科
中部整災誌51	Low-grade fibromyxoid sarcomaの治療経緯	金森昌彦	整形外科
Hip joint, 34	関節リウマチに対するセメントレス人工股関節置換術の長期成績	松下 功	整形外科
臨床リウマチ, 20	生物学的製剤による関節破壊抑制効果-荷重関節に対する効果と限界-	松下 功	整形外科
日手会誌 24(5)	指伸筋腱損傷に対する長機側手根伸筋腱移行	長田龍介	整形外科
中部整災誌, 51	上位頸椎病変に対し後方固定術を行った関節リウマチ症例の成績	川口善治	整形外科
中部整災誌 50	骨腫瘍切除後のハイドキシアパタイト充填術の治療成績	安田剛敏	整形外科
中部整災誌, 51	40歳代以下の頸椎症性脊髄症に関わる要因と頸椎椎弓形成術の成績についての検討	関 庄二	整形外科
関節外科	腰椎椎間板ヘルニアの発症メカニズム	関 庄二	整形外科
脊髄機能診断学, vol 30, No1	Br-MSBPによる術中モニタリングのfalse positiveの検討	阿部由美子	整形外科
整形外科, 59	ステム付きコンポーネントを使用した人工膝関節再置換術の治療成績	渡邊裕規	整形外科
中部整災誌, 51	特発性大腿骨頭壊死症に対する自家多血小板血漿を移植担体とした自家細胞移植	伊藤芳章	整形外科
日本脊髄障害医学会雑誌, 21(1)	RA軸椎下病変に伴う頸髄症に対する片開き式頸椎椎弓形成術の成績	鈴木賀代	整形外科
J Reprod Immunol, 77	The balance between cytotoxic NK cells and regulatory NK cells in human pregnancy	Saito S	産科婦人科
Am J Pathol, 173	Granulysin produced by uterine natural killer cell induces apoptosis of extravillous trophoblast in spontaneous abortion	Nakashima A	産科婦人科
日本医師会雑誌, 137	生殖医療の現状と問題 不育症の原因と治療	齋藤 滋	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌, 60	D.産科疾患の診断・治療・管理. 8. 合併症妊娠の管理と治療	齋藤 滋	産科婦人科
産婦人科の実際, 57(1)	生殖医療 日本生殖免疫学会	齋藤 滋	産科婦人科
日本周産期・新生児医学会雑誌, 44	シンポジウム2「早産-予防・出生児の管理・手術の限界」座長まとめ	齋藤 滋	産科婦人科
日本周産期・新生児医学会雑誌, 44	シンポジウム2「早産-予防・出生児の管理・手術の限界」日本における早産の実態と予防対策	齋藤 滋	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌, 60	甲状腺疾患合併妊娠	塩崎有宏	周産母子センター
日本産科婦人科学会雑誌, 61	自己免疫疾患・膠原病合併妊娠	塩崎有宏	周産母子センター
産婦人科漢方研究のあゆみ 25	更年期障害例に対する東洋医学に基づく個の医療の創生-プロテオミクス解析による治療効果の予測-	柳楽清文	産科婦人科
日本周産期・新生児医学会雑誌, 44	羊水中チオレドキシシン, IL-6, IL-8からみたFIRS	米田 哲	周産母子センター
Exp Brain Res 187	Evaluation of the vestibular evoked myogenic potential during parabolic flight in humans	Shojaku H	耳鼻咽喉科
小児内科, 40(5)	小児良性発作性めまい	浅井正嗣	耳鼻咽喉科
Equilibrium Res., 67	注視眼振検査を指標とした末梢前庭障害の病状把握と急性期治療の検討	伏木宏彰	耳鼻咽喉科
Cancer Sci., 99(3)	Chemokine receptor CXCR4 expression and prognosis in patients with metastatic prostate cancer	Akashi T	泌尿器科
J. Trad. Med., 25(1)	Effects of the herbal medicine hochuekkito on semen parameters and seminal plasma cytokine levels (TNF- $\alpha$ , IL-6, RANTES) in idiopathic mal	Akashi T	泌尿器科
Comparison among Levovist, YM454,	Effects of microbubbles on ultrasound-mediated gene transfer in human prostate cancer PC3 cells	Watanabe A	泌尿器科
泌尿器外科, 21	腎盂尿管癌の予後に関わる因子の検討. 泌尿器外科, 21	森井章裕	泌尿器科
泌尿器外科, 21	膀胱内異物の2例	今村朋理	泌尿器科
泌尿器要, 54	残尿測定における携帯型3次元超音波断層装置 (BV16100) の有用性-経腹的超音波断層法との比較検討	渡部明彦	泌尿器科
腎臓予防医誌, 16	当科における経直腸前立腺生検の検討	森井章裕	泌尿器科
泌尿器要54	前立腺疾患における蓄尿障害に対する牛車腎丸の効果 -漢方治療の基礎研究と今後の方向性について-	藤内靖喜	泌尿器科
泌尿器外科, 21	再燃前立腺癌における低用量デキサメサゾン療法の治療効果	小宮頭	泌尿器科

泌尿器外科, 21	再燃前立腺癌に対するタキサン系抗癌剤, リン酸エストラムスチン併用療法の検討	森井重裕	泌尿器科
日本口腔腫瘍学会雑誌, 20	口底癌の深部進展様式に関する予備的研究: 特有の進展様式はあるのか?	野口 誠	歯科口腔外科
富山大学医学会誌, 19	病期期間が10年以上の顔面疼痛が治療により治癒・軽快した2症例	今村知代	歯科口腔外科
第26回富山救急医療研究会	歯科・口腔外科のためのDCLS (Dental Crisis Life Support) コースの開発	今村知代	歯科口腔外科
本公衆衛生雑誌, 55	歯列・咬合異常が高校生の心身の健康状態に及ぼす影響	井上さやか	歯科口腔外科
J Orthop Sci 13	Changes of the soluble fibrin monomer complex level in the perioperative period of hip replacement surgery	Misaki T	第一外科
臨床病理	医学生に対する卒前生化学検査実習の課題と解決, 検査測定原理を効果的に実習できるツールへのPOCT対応型小型自動分析器の改造とその学習効果	原田健右	検査部
J. Trad. Med., 25	Biomarkers of endothelial dysfunction are elevated in patients with rheumatoid arthritis with oketsu (blood stasis)	Hikiami H	和漢診療科
Kampo Med., 59	Effect of keishibukuryogan on silent brain infarction over 3 years	Goto H	和漢診療科
Biol. Med., 233	Evidence-based efficacy of Kampo formulas in a model of non alcoholic fatty liver. Exp	Fujimoto M	和漢診療科
Am. J. Chin. Med., 36	ophInhibitory effect of TNF-alpha produced by macrages stimulated with Grifola frondosa Extract (ME) on the growth of influenza A/Aichi/	Obi N	和漢診療科
Cerebrovascular Diseases, 25 (supp)	Easy and Accurate New Scale for Evaluating Consciousness Level of Patients with Stroke: The Emergency Coma Scale	Takahashi C	脳神経外科
機能的脳神経外科, 47	パーキンソン病に対する両側視床下核刺激療法による認知機能および精神機能の変化の検討	旭 雄士	救急部
富山大学医学会誌, 19	病期期間が10年以上の顔面疼痛が治療により治癒・軽快した2症例	今村知代	歯科口腔外科
創ISLSコースの運営と現状報告 -コー	創ISLSコースの運営と現状報告 -コース内のEmergency Coma Scaleの位置づけも含め	高橋千晶	脳神経外科
第26回富山救急医療研究会	歯科・口腔外科のためのDCLS (Dental Crisis Life Support) コースの開発	今村知代	歯科口腔外科
富山大学医学会誌, 19	医学教育の一環としての化学災害訓練の試み	峯 隼人	卒後臨床研修センター
J Orthop Sci 13(5)	Changes of the soluble fibrin monomer complex level in the perioperative period of hip replacement surgery	Misaki, T	第一外科
臨床病理 56(9)	医学生に対する卒前生化学検査実習の課題と解決, 検査測定原理を効果的に実習できるツールへのPOCT対応型小型自動分析器の改造とその学習効果	原田健右	検査部
Cerebrovascular Diseases, 25 (supp)	Easy and Accurate New Scale for Evaluating Consciousness Level of Patients with Stroke: The Emergency Coma Scale	Takahashi C	脳神経外科
機能的脳神経外科, 47	パーキンソン病に対する両側視床下核刺激療法による認知機能および精神機能の変化の検討	旭 雄士	救急部
Neurosurg Emerg, 13	創ISLSコースの運営と現状報告 -コース内のEmergency Coma Scaleの位置づけも含め	高橋千晶	脳神経外科
第26回富山救急医療研究会	歯科・口腔外科のためのDCLS (Dental Crisis Life Support) コースの開発	今村知代	歯科口腔外科
富山大学医学会誌, 19	医学教育の一環としての化学災害訓練の試み	峯 隼人	卒後臨床研修センター
検査と技術 36	輸血検査自動機器の精度管理	西野主真	輸血・細胞治療部
Aliment. Pharmacol. Ther., 28	The modified glucose clearance test: a novel non-invasive method for differentiating non-erosive reflux disease and erosive oesophagiti	Fujinami H	第三内科
Scand. J. Gastroenterol., 30	Diversity of mucosa-associated microbiota in active and inactive ulcerative colitis	Nishikawa J	第三内科
Hepatology, 47	Metron factor-1 prevents liver injury without promoting tumor growth and metastasis	Takahara T	第三内科
herapeutic Res., 29	逆流性食道炎と非びらん性胃食道逆流症の病態におけるグルコースクリアランステストの有用性	藤浪 斗	第三内科
J Reprod Immunol 77	The balance between cytotoxic NK cells and regulatory NK cells in human pregnancy	Saito S	産科婦人科
Am J Pathol, 173	Granulysin produced by uterine natural killer cell induces apoptosis of extravillous trophoblast in spontaneous abortion	Nakashima A	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌 60	甲状腺疾患合併妊娠	塩崎有宏	周産母子センター
日本産科婦人科学会雑誌 60	自己免疫疾患・膠原病合併妊娠	塩崎有宏	周産母子センター
日本周産期・新生児医学会雑誌44	羊水中チオレドキシシン, IL-6, IL-8からみたFIRS	米田 哲	周産母子センター
Eur. J. Neurol., 15	Differential diagnosis of cerebral infarction using an algorithm combining atrial fibrillation and D-dimer level	Dougu N	神経内科
Subanalysis of the JELIS Trial. St	Reduction in the Recurrence of Stroke by Eicosapentaenoic Acid for Hypercholesterolemic Patients	Tanaka K	神経内科
Circ. J., 73	Novel LAMP-2 mutation in a family with danon disease presenting with hypertrophic cardiomyopathy	Dougu N	神経内科
富山県臨床核医学研究会記録集, 14	半球性血流低下を伴う内頸動脈病変における局所脳血流量と神経細胞密度の関係	田口芳治	神経内科
日本内科学会雑誌, 97	Letters to the Editor	高嶋修太郎	神経内科

計 121

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 遠藤 俊郎
管理担当者氏名	経営企画情報部長 中川 肇      放射線部長 瀬戸 光 薬 剤 部 長 足立 伊佐雄      看護部長 山口 千鶴子 総務企画グループ長 佐藤 忠弘 医療サービスグループ長 奥田 豊子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療サービスグループ、薬剤部、看護部及び放射線部	カルテ等（電子カルテを含む。）の病歴資料は、1患者1ファイル方式による永久一元番号で分類し、外来カルテは最終受診日から8年以上、入院カルテは退院日から10年以上の保存を原則としている。 また、エックス線写真は、1患者1ファイル方式で、最終使用日から8年間の保存を原則としている。 これらは、コンピュータによる集中管理を行っている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務企画グループ人事チーム	/
	高度の医療の提供の実績	医療サービスグループ	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務企画グループ 病院運営企画チーム	
	高度の医療の研修の実績	総務企画グループ 病院運営企画チーム	
	閲覧実績	総務企画グループ 病院運営企画チーム	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービスグループ	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービスグループ及び薬剤部	
確規保則の第9条の23及び第	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務企画グループ 医療安全管理支援チーム	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務企画グループ 医療安全管理支援チーム	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務企画グループ 医療安全管理支援チーム	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総務企画グループ 医療安全管理支援チーム	

	1 条の 1 1 各号 に掲 げる 体制	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	分類方法
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
			保管場所	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規 則 第 1 条の 1 1 各号 に掲 げる 体制 確保 の 状 況	院内感染のための指針の策定状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	分類方法
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務企画グループ 医療安全管理支援 チーム	

		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援チーム	
	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援チーム	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務企画グループ 医療安全管理支援チーム	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務企画グループ長 佐藤 忠弘
閲覧担当者氏名	総務企画グループ 病院運営企画チーム 波多野 貴大
閲覧の求めに応じる場所	総務企画グループ 病院運営企画チーム

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.2%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		7,892人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,327人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,086人
	D: 初診の患者の数		14,628人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (14) 名 ・ 活動の主な内容： 1. インシデントの収集・調査・分析、発生原因の究明及び防止対策に関すること。 2. 医療安全管理に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること。 3. 医療安全管理に係る業務改善の提言・指導に関すること。 4. 医療安全管理に係る教育・研修・啓発に関すること。 5. 医療安全管理マニュアルに関すること。 6. その他の医療の安全管理に関すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 1. 病院における安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理委員会その他の組織に関する基本事項 3. 医療に係る安全管理のための従業員に対する研修に関する基本方針 4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者様との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者様からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のための必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 1. 医療安全管理方針の策定及び推進に関すること。 2. インシデントの報告に関すること。 3. 医療安全管理の教育及び研修に関すること。 4. 医療安全管理対策の検討及び医療安全管理マニュアル作成に関すること。 5. 医療の質向上への取組みに関すること。 6. 重大なインシデントに係る調査及び対策に関すること。 7. 医療事故対応の意思決定・報告・広報に関すること。 8. その他医療安全管理に関すること。	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 7 回
・ 研修の主な内容： 春季・秋季医療安全管理等研修会、インシデント事例検討会、リスクマネージャー会議、医療安全推進のための講演会、医薬品・医療機器安全使用のための研修会	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 医療安全管理室の専任スタッフが、インシデント報告書を毎日チェックし、3b 以上の報告書など重要事例に関して GRM が事前に検証し、医療安全管理室長及び医療安全管理室ミーティングに報告し、同室長が特別事例調査会を開催し事実経過把握と事故調査委員会開催の是非を検討のうえ病院長に報告。 ・ 医療安全管理室ミーティングでは、インシデント報告のうち院内全体に関わる内容を中心に、体系的な問題の有無を検討し、改善策を医療安全管理委員会の承認を経て、全部署に周知する。 ・ 各部署においては、リスクマネージャーが中心となって、発生の背景や内容、予防対策について部署全体でカンファレンスを行う。(ローカルルールの作成及び検討) ・ リスクマネージャー会議と事例検討会において、当該期間に発生した事例のうち 2 事例を選択のうえ発表し、質疑応答形式でディスカッションを行う。	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5次医療法の改正について</li> <li>・ 医薬品の業務手続書について</li> <li>・ 医薬品安全使用について</li> <li>・ 消毒薬及び抗菌薬について</li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医薬品の採用・購入に関する事項</li> <li>2. 医薬品の管理に関する事項 (麻薬等の管理方法等)</li> <li>3. 患者の持参薬歴情報の収集方法、処方箋の記載方法</li> <li>4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</li> <li>5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項</li> <li>6. 他施設 (病院等、薬局等) との連携に関する事項</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>メーカーからの緊急連絡及び医薬品医療機器情報提供ホームページ等から情報収集し、必要な医薬品情報は、薬事ニュースの配布及び電子掲示板で情報提供。</p> <p>副作用による健康被害情報を病院長に報告のうえ、厚生労働省に報告。</p> </li> </ul>	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本事項</li> <li>3. 院内感染対策のための病院従業員に対する研修に関する基本方針</li> <li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針（通用時対応、緊急時対応）</li> <li>6. 患者等に対する指針の回覧に関する基本方針</li> <li>7. 病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染予防対策の確立に関すること。</li> <li>2. 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。</li> <li>3. 感染予防の啓発及び教育に関すること。</li> <li>4. 感染に係る事故等の疫学調査及び事後措置に関すること。</li> <li>5. 感染予防対策の評価及び改善に関すること。</li> <li>6. 感染予防対策に係る情報収集に関すること。</li> <li>7. その他感染予防に関すること。</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年14回
<p>研修の主な内容：</p> <p>看護部新入職員研修、中途採用者オリエンテーション、昇任副看護師長研修、看護力再開発講習会、感染予防対策講習会、感染対策研修会（委託業者）、育児休暇明け研修</p> <p>昇任看護師長研修</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染サーベイランスを実施し、データ分析・評価し、感染予防対策の見直し看護ケアの改善につなげる。</li> <li>・ 院内感染情報レポートを活用して、職員への情報提供を行う。</li> <li>・ 院内ラウンドを通して、感染防止技術の確認・指導を行う。</li> </ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>主として、次の医療機器の安全使用のための研修を実施。</p> <p>人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置（AEDを除く）、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>使用者がチェックリストに基づく使用前、使用中、使用后点検を基本とする。さらに、使用部署もしくは医療機器管理センターで、器機の使用状況、程度に応じ、使用毎や年1回から4回程度の詳細点検を実施。また、一部の器機については、業者委託により、定期部品交換を含む詳細点検を実施。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>周知方法</p> <p>病院総合情報システムの掲示板で、電子化された添付文書等の掲示や、医療安全管理委員会からリスクマネージャー経由で、電子メールによる通知を行っている。</p> <p>また、不具合等に関する情報は、病院長等管理者に報告のうえ、厚生労働省に報告している。</p>	